

2006 Jリーグ 選手等ホームタウン活動調査

(旧称“ホームタウン活動定量把握アンケート”)

2007年7月3日

社団法人 日本プロサッカーリーグ

調査概要

1. 目的など

- ・選手のホームタウン活動への参加状況を、選手毎の参加時間まで詳細に把握する。
- ・クラブ間で情報共有し、今後の活動充実に結びつける。
- ・欧米には選手契約などで、年間の活動参加時間を義務づける例がある。

2. 調査対象

- ・31のJクラブによる、2006シーズン中の、選手等が参加したホームタウン活動

3. 調査方法

- ・2007年3月～6月にかけて、各クラブのホームタウン担当宛にアンケート調査を実施
- ・質問項目

①名称・活動内容 ②新規・継続の別 ③開催場所 ④開催時期 ⑤開催回数 ⑥活動時間 ⑦クラブ参加者（選手・監督/コーチ） ⑧参加者人数計 ⑨対象者区分・人数 ⑩活動主体 ⑪主な協力団体・分類 ⑫各選手活動時間

4. ノート

- ・対象者はトップチームの選手、監督、コーチ（2007年度調査では社長を追加）
- ・「ホームタウン活動」からアカデミー活動=普及活動を除外した。逆に、スポンサーを意識した活動は、含めている。その他、クラブ毎に捉え方の違いあり。

2007年調査では、①アカデミー=普及活動も対象とする、②スポンサーを意識した行動も、対象とする、③メディア対応も対象とする。但し、試合や練習に当然付随するインタビューなどは、除く、④試合会場でのサイン会などの活動も、対象とする。

- ・「2006シーズン」の捉え方にクラブ毎の違いあり。 （2007年度調査では、1月～12月に統一）

活動ジャンル別傾向(サマリー)

サッカー教室/サッカーイベント



- ・全体の活動数の2割近く
- ・平均活動時間:2.22時間
- ・子ども対象のものが全体の2/3以上
- ・スポンサーの協力が大きく、全体の34.7%
(行政18.1%、クラブのみ10.8%)
- ・7月、10月~12月が多いが、どの月もある程度の活動数

地元イベント



- ・全体の活動数の約13%
- ・平均活動時間:1.70時間
- ・地域住民、不特定の人が対象
- ・行政、自治会/商店街によるものが半数以上で、地元企業によるものも多い。
- ・7月、8月、10月、11月の活動数が多い。
- ・東京V、川崎、愛媛、鳥栖、大分が実施比率高い。

広報・メディア活動



- ・全体の活動数の6%弱
- ・平均活動時間:1時間弱
- ・不特定の人を対象にした活動が大半
- ・スポンサーの協力によるものが75%近くを占める。
- ・活動時期に突出する月はない。
- ・札幌、柏が実施比率高い。

スポーツ教室/スポーツイベント



- ・活動数は全体のわずか3%
- ・平均活動時間:2.12時間
- ・行政の協力で実施するものが1/3強
- ・10月、11月が他の月より若干多い。

ファンサービス



- ・活動数は全体の約10%
- ・平均活動時間:1.80時間
- ・クラブ単独で行う活動が1/3以上
- ・活動時期はシーズン開幕前2月と終了後の12月に集中
- ・横浜FM、磐田、C大阪が実施比率高い。

介護福祉活動



- ・活動数は全体の約4%
- ・平均活動時間:1.85時間
- ・障害者対象のものと、高齢者対象のものは同比率
- ・クラブ単独の活動が最も多いが、福祉団体等の協力を得ているものも約2割
- ・1月、10月の実施回数が多い。
- ・山形、千葉、横浜FMは比較的实施比率高い。

学校訪問



- ・全体の活動数の約15%
- ・平均活動時間:1.95時間
- ・行政/学校の協力が不可欠
- ・5月~7月に集中しており、11月も多い。
- ・千葉、横浜FC、京都、G大阪が実施比率高い。

サイン会・トークショー



- ・全体の活動数の約16%
- ・平均活動時間:1.34時間
- ・ファン/サポーター、地域住民、不特定の人を対象に実施
- ・クラブ単独、もしくはスポンサーの協力で実施するものが半数以上
- ・8月、10月、11月の活動数が多い。
- ・鹿島、湘南、新潟、清水、磐田、徳島が実施比率高い。

ホームタウン活動全体傾向(サマリー)

- 総活動数: 1,340回 / 年 (1クラブ平均 43回/年、3.6回/月)
- 総活動時間: 2,424.9時間 / 年 (1クラブ平均 78.2時間/年、6.5時間/月)

・活動数、活動時間ともに、「サッカー教室/イベント」が最も多い。また、「学校訪問」、「地元イベント」も上位となっている。 ...添付 P.9

・活動数、活動時間共に「小学生」が最も多い。他、対象者数では、「ファン/サポーター」が最も多く、他と大きな差がある。 ...添付 P.10,11

・行政と連携して行う活動が最も多く、全体の約1/4を占める。 ...添付 P.12,13

・6、7月(J1中断期)、10～12月(シーズン終盤)をピークに活動は分布していて、活動が少ないのは3月、4月のシーズン開幕期とシーズン中盤の9月 ...添付 P.14, 15

選手のホームタウン活動傾向(サマリー)

- 総選手参加者数: 980人
- 選手平均活動数: 6.2回 / 年*
- 選手平均活動時間: 12.2時間 / 年

- ・活動数は、4～6回をピークに分布し、活動時間は6-9時間が最も多い。 ...添付 P.17
- ・「クラブの顔」になる選手、「若手」選手の活動時間が多い。 ...添付 P.18～20
- ・1人当たりの平均活動数が多いクラブは、甲府(14.8回)、水戸(12.7回)、草津(12.1回) ...添付 P.29
- ・1人当たりの平均活動時間が長いクラブは、甲府(23.5時間)、磐田(23.2時間)、草津(22.7時間) ...添付 P.30

*参考値: 複数回の活動をまとめて報告しているものについては、1人の選手が参加した活動数は不明瞭なため、1回としてカウント

海外事例

The F.A. PREMIER LEAGUE



FAPL HANDBOOK – RULES2006/2007, P178より
 「選手は週6時間まで、クラブ、クラブスポンサー、リーグまたはリーグスポンサーによる、地域活動およびプロモーション活動に参加しなくてはならない」(2002年に調査したときは、“週2～3時間以上”だった)

『The F.A. Premier League Community Report』を毎年発行している。

クラブの人気、信頼性と地域への影響力を活かした数々のプログラムを展開：

(例)

- ・コーチが若者に対して食事の重要性、運動不足や喫煙・飲酒の危険性に関する講義
- ・子どもたちに対して学習や読書のきっかけづくり(Premier League Reading Starsプログラムにて家族での読書を推進-結果、参加した94%の子どもがより多く読書をするように)

NBA



労使協定第2条8項：

「契約によって規定されている期間中、選手は毎年雇用先チーム(あるいはその提携チーム)やNBAのために7回の個人的な参加(うち2回はシーズンチケット所有者のイベントに関するものとする)と、5回のグループ参加を行うものとする。(中略)選手には1回当たりの参加につき、最低2500ドルの報酬が支払われるものとする。」(違反者は2万ドルの罰金)

リーグとチームの担当者間で選手起用をモニターする「選手起用追跡システム(Player Appearance Tracking System)を活用

リーグ全体のコミュニティ活動のプラットフォーム：“Read to Achieve”, “Basketball Without Borders”, “NBA Cares”

広報・プロモーション活動への参加を選手報酬と連動させる取り組み

MLS



コミュニティ活動の中心となるプログラムがリーグ主導でプラットフォーム化されており、各チームレベルで標準化された活動展開：“Get a Kick Out of Reading”, “Kicks for Kids”

イベントなどへの選手やコーチ、マスコット参加をファンからリクエストできる仕組み

参加した選手には小額だが参加報酬が支払われるため、大部分の選手が年俸の低いMLSでは、選手にとってもプログラムへの参加も仕事の一部という認識が強い。

ニューヨーク・メトロスターズ
 選手を起用した地域活動：年間200回

ロサンゼルス・ギャラクシー
 ユースサッカー大会やクリニック、病院の慰問、体育の授業への参加等：年間500回

コロラド・ラピッズ
 年間140回の地域活動
 オフシーズンも含めて月平均11回以上(3日に1回の割合)
 選手が1～2人参加する学校訪問やサイン会などの小規模イベントが大半だが、月に2回は試合終了後に全選手・コーチが参加する公式パーティー
 公式シーズン中(4月～11月)もシーズンオフも変わらぬ頻度で活動展開

NFL

選手を起用したリーグ主導のプログラム“Hometown Huddle Project”で、選手たちがシーズン中決められた日に、それぞれのフランチャイズの地域コミュニティで、低所得者向けの住宅建設やホームレスへの給食配布、子どもの遊び場設置など様々な奉仕活動を実施

MLB シアトル・マリナーズ

毎年5月“Mariners Education Day”で、選手やコーチが地元テレビ局クルーや新聞記者とともに地元の小学校を訪問し、勉強の重要性を子どもたちに伝える。

MLB セントルイス・カーディナルス

“Players as Spokesman”プログラムで地域の企業や団体等のイベント/キャンペーンで選手を広報担当として起用

添付資料 – 詳細データ

添付資料 – 目次

活動ジャンル別傾向分析

- 活動ジャンル(活動数、活動時間) ...9
- 活動対象者(活動数、活動時間、対象者数) ...10
- 活動ジャンル別の傾向(対象者) ...11
- 協力団体(活動数、活動時間) ...12
- 活動ジャンル別の傾向(協力団体) ...13
- 開催月、新規/継続(活動数) ...14
- 活動ジャンル別の傾向(開催月) ...15

選手活動傾向分析

- 選手活動分布(活動数、活動時間) ...17
- 選手活動分布(総出場時間×活動時間) ...18
- 選手活動分布(1試合当たりの出場時間×活動時間) ...19
- 選手活動分布(年齢×活動時間) ...20

クラブ間比較分析 – 活動全体

- 活動量 ...22
- 活動ジャンル ...23
- 活動対象者 ...24
- 協力団体 ...25
- 開催月 ...26

クラブ間比較分析 – 選手活動

- 選手活動分布(活動数) ...28
- 選手活動分布(活動時間) ...29
- 選手活動分布(活動数×活動時間) ...30
- 活動の多い選手(上位3位) ...31

活動ジャンル別傾向分析

活動ジャンル(活動数、活動時間)

活動のジャンルとその規模を把握

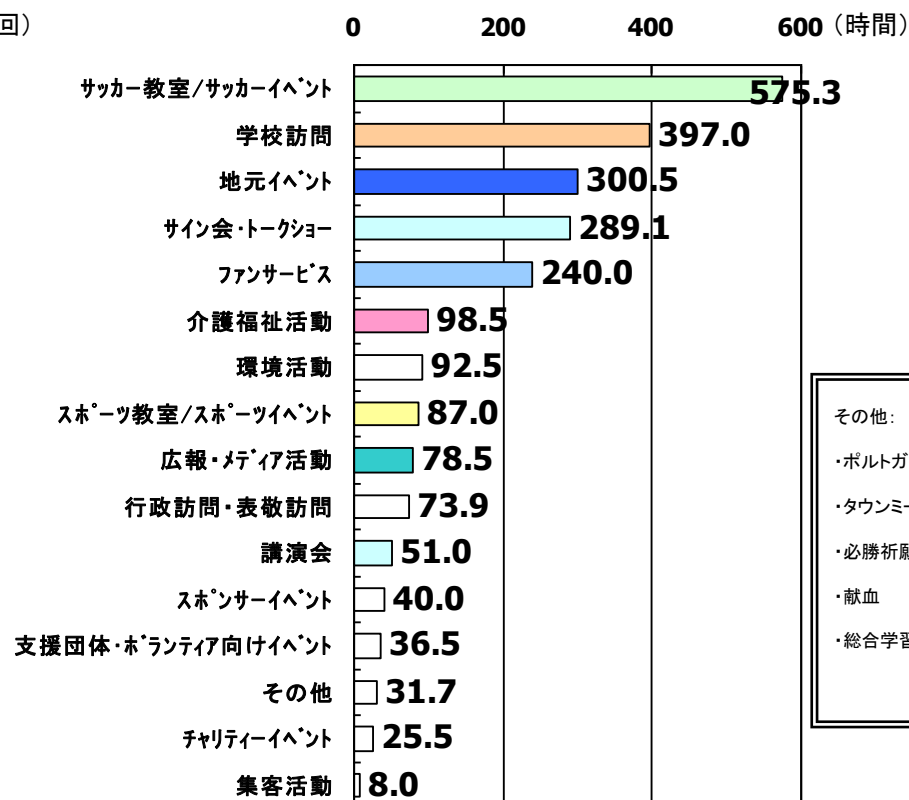
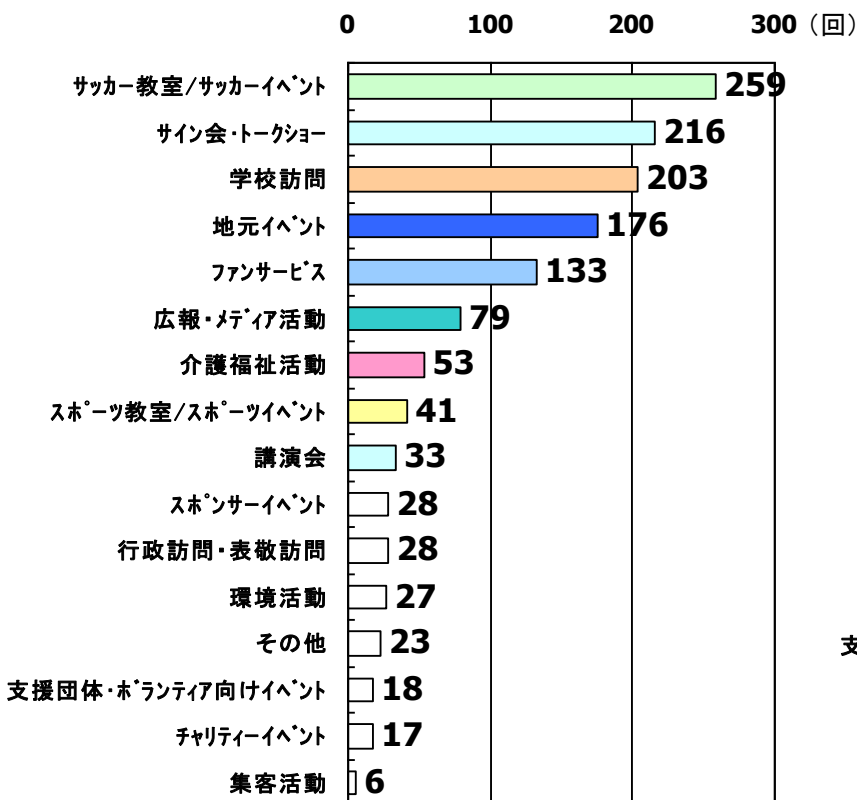
⇒Jリーグが実施しやすい活動と、実施できていない活動を検証(今後の活動計画に活用)

⇒各クラブが他のクラブと比べて、どの活動が足りていないか検証(クラブ間比較参照)

- ・活動数、活動時間ともに、「サッカー教室/サッカーイベント」が最も多い。また、「学校訪問」も上位となっている。
- ・他、「サイン会・トークショー」、「地元イベント」、「ファンサービス」、「介護福祉活動」も活動
- ・選手等が参加する環境活動は多くはない。(1クラブ当たり1回未満)

◆活動数

◆活動時間



その他:

- ・ポルトガル語講座食事会
- ・タウンミーティング
- ・必勝祈願
- ・献血
- ・総合学習(クラブにて)

など

活動対象者(活動数、活動時間、対象者数)

活動の対象者とその規模を把握

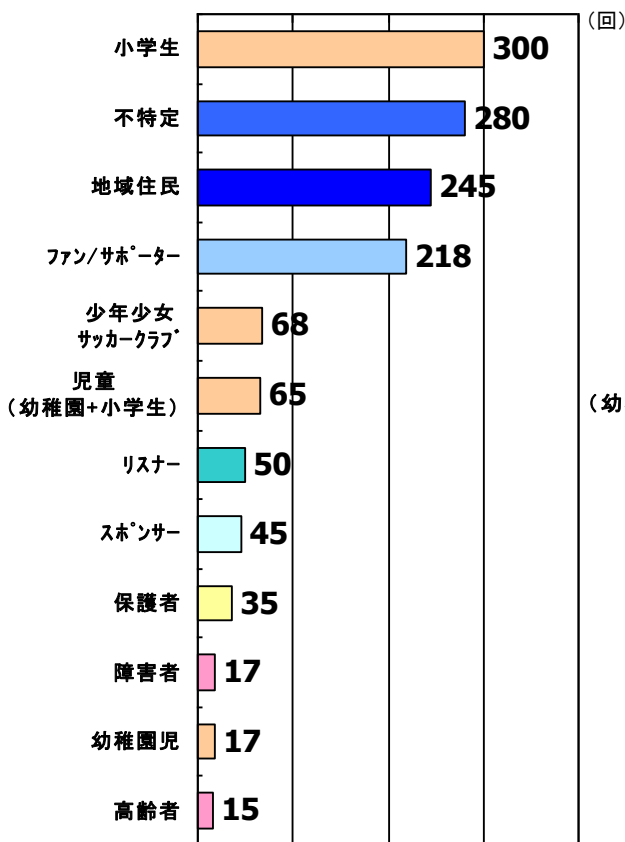
⇒Jリーグが狙っているターゲットを押さえられているか検証

⇒今後注力すべき対象者の検討

- ・活動数、活動時間ともに「小学生」が、最も多い。他、対象者数では、「ファン/サポーター」が最も多く、他と大きな差がある。
- ・対象者数では、「保護者」や「スポンサー」向け活動も、多い。
- ・「高齢者」、「障害者」対象の活動も展開している。

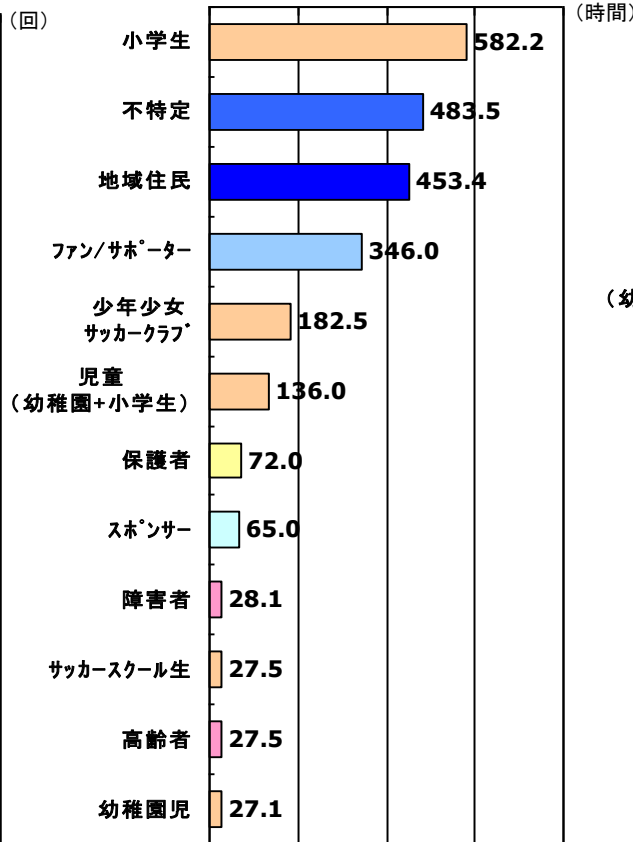
◆活動数

0 100 200 300 400



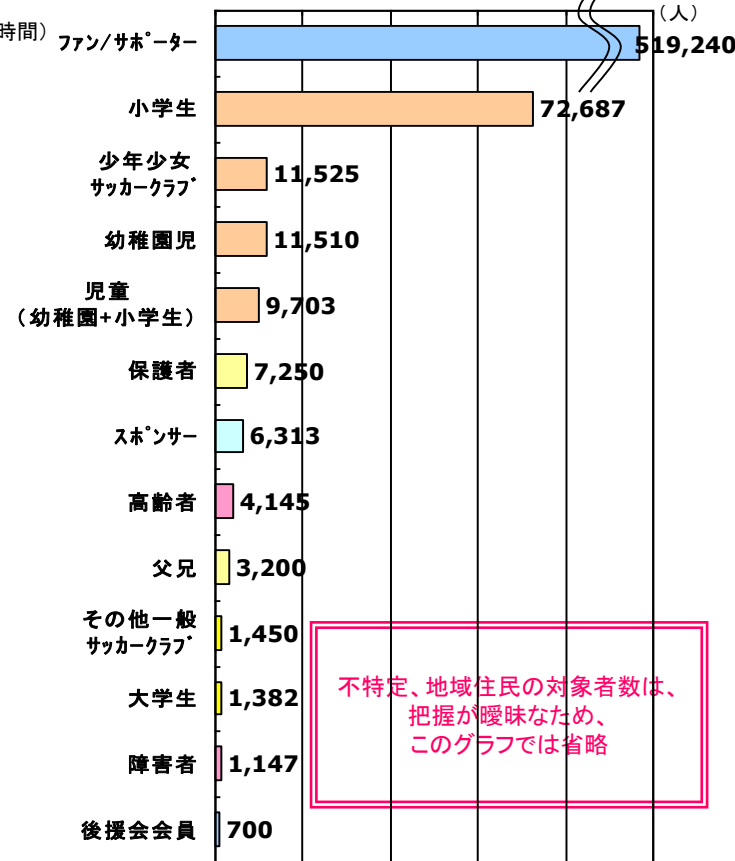
◆活動時間

0 200 400 600 800



◆対象者数

0 20,000 40,000 60,000 80,000 100,000



活動ジャンル別の傾向(対象者)

活動の対象者を詳しく把握

⇒ターゲットに合わせた活動ジャンルの検討

・サッカー教室/サッカーイベント、スポーツイベントは、主に「幼稚園児や小学生」が対象

活動ジャンル	対象者													総計
	小学生	不特定	地域住民	ファン/サポーター	少年少女サッカークラブ	児童(幼稚園+小学生)	リスナー	スポンサー	保護者	幼稚園児	障害者	高齢者	その他	
サッカー教室/サッカーイベント	91	6	25	4	64	42			23	9			37	301
サイン会・トークショー		64	52	104	1	1		3			1		5	231
学校訪問	193	1	1						4	3			8	210
地元イベント	4	60	87	9	2	7		2	1				15	187
ファンサービス		32	20	81		2		1	1				3	140
広報・メディア活動	1	60	6	7			50						11	135
介護福祉活動	2	1	12	3		2		1		2	16	15	5	59
スポーツ教室/スポーツイベント	5	8	8		1	11			3	1			11	48
行政訪問・表敬訪問		5	5					10					17	37
講演会		4	10					2	1				19	36
スポンサーイベント		1		1				26					1	29
環境活動	1	23	2						1				2	29
その他	3	5	6	1					1				9	25
支援団体・ボランティア向けイベント		2	3	5									10	20
チャリティーイベント		8	4	3						1			1	17
集客活動			4							1			2	7
総計	300	280	245	218	68	65	50	45	35	17	17	15	156	1,511

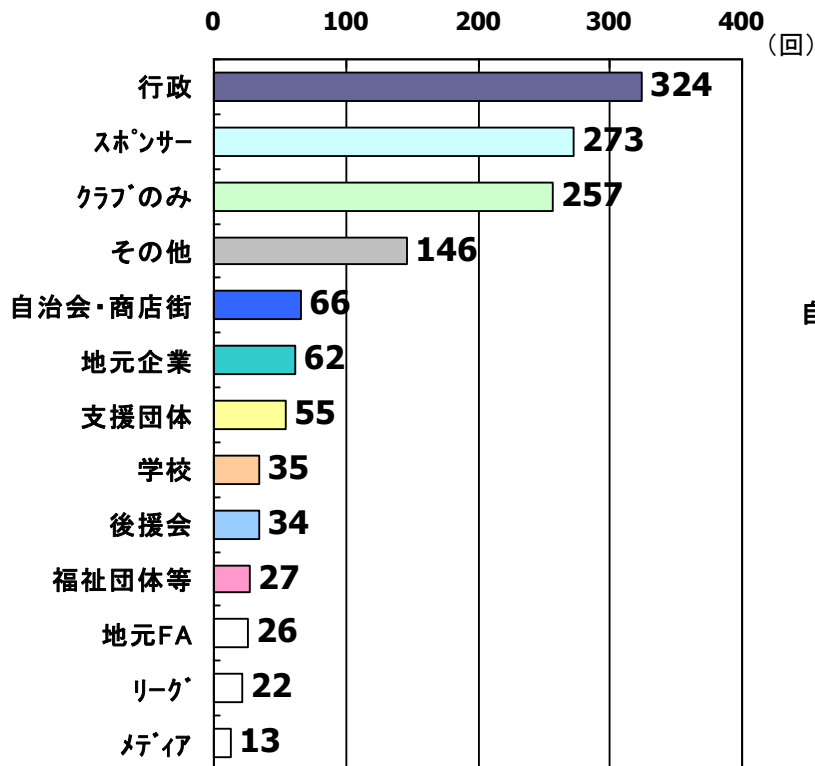
協力団体(活動数、活動時間)

活動の協力団体を把握

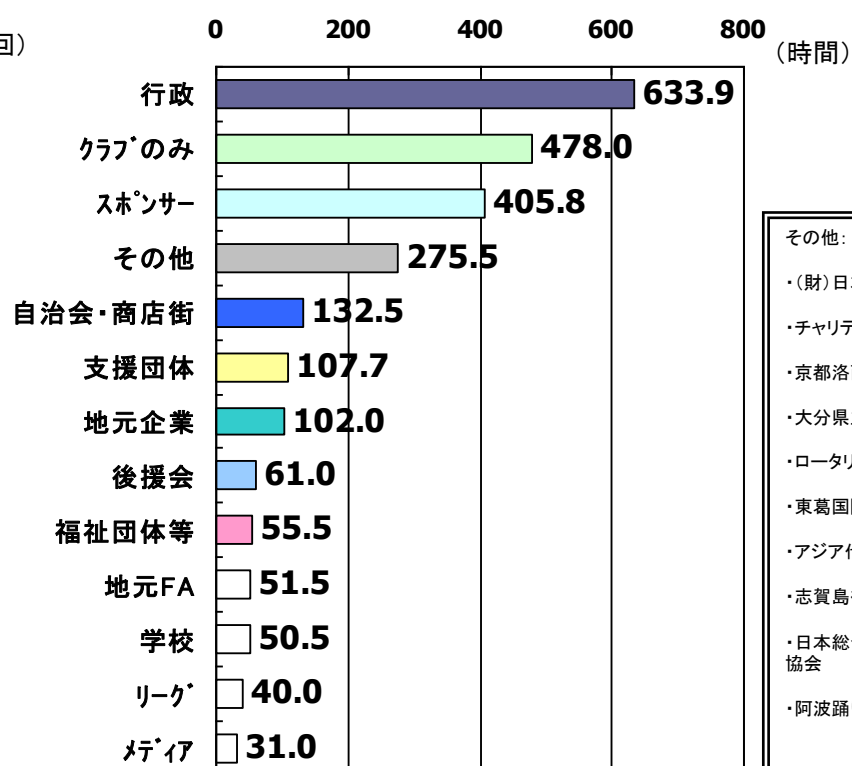
⇒Jクラブに協力(活動への協力)してくれやすい団体を検証し、今後の活動アプローチを検証
⇒各クラブの協力団体連携状況およびクラブ単独活動状況の把握(他クラブとの比較)

- ・「行政」と連携して活動することが最も多い。(全体の約1/4)
- ・「クラブ」が自主的に単独で実施、「スポンサー」との連携イベントもそれぞれ多く実施している。

◆活動数



◆活動時間



その他:

- ・(財)日本プロスポーツ協会
- ・チャリティーゴルフ実行委員会
- ・京都洛西ライオンズクラブ
- ・大分県立病院
- ・ロータリークラブ
- ・東葛国際映画祭実行委員会
- ・アジア代表日本実行委員会
- ・志賀島復興祭実行委員会
- ・日本総合スポーツ&セキュリティー支援協会
- ・阿波踊り実行委員会

など

活動ジャンル別傾向(協力団体)

活動の協力団体を詳しく把握

⇒活動ジャンルごとに適した協力団体の検討

- ・学校訪問、地元イベントは、「行政」と連携して実施することが多い。
- ・また、サッカー教室/サッカーイベント、広報・メディア活動は、「スポンサー」と協力して実施することが多い。
- ・ファンサービス、サイン会・トークショーに関しては、クラブが主体で実施される傾向。

協力団体 活動ジャンル	行政	スポンサー	(なし)	その他	自治会・ 商店街	地元企 業	支援団 体	学校	後援会	福祉団 体等	地元FA	リーグ	メディア	総計
サッカー教室/サッカーイベント	47	90	28	41	5	5	12		3	5	15	5	3	259
サイン会・トークショー	8	67	69	28	15	15	6		3		1	1	3	216
学校訪問	157	1	19	2				20	1			3		203
地元イベント	51	19	6	17	36	27	5	4	1	4	1	1	4	176
ファンサービス	15	11	52	31	4	7	7		4			2		133
広報・メディア活動	3	59	1	1		2	5	1	4				3	79
介護福祉活動	4	4	16	5				2	1	11	2	8		53
スポーツ教室/スポーツイベント	12	3	1	7	2	3	3		2		7	1		41
講演会	8	3		5	2	1	8	4	1	1				33
スポンサーイベント		11	16						1					28
行政訪問・表敬訪問	11	3	13		1									28
環境活動	3		20			2	1		1					27
その他	3	1	8	3	1		2	3		1		1		23
支援団体・ボランティア向けイベント			6	1			4		7					18
チャリティーイベント	1	1	2	5			2	1		5				17
集客活動	1								5					6
総計	324	273	257	146	66	62	55	35	34	27	26	22	13	1,340

開催月、新規/継続(活動数)

活動の開催月ごとの活動数(大小)を把握
新規活動と継続活動の分布状況を把握

⇒活動しやすい時期と活動しにくい時期を検証(今後の活動スケジュール検討に活用)
⇒活動の新規/継続状況を比較して、ホームタウン活動の新たな傾向と活動の継続性を検証

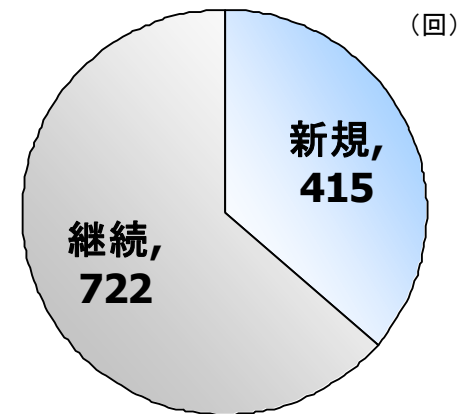
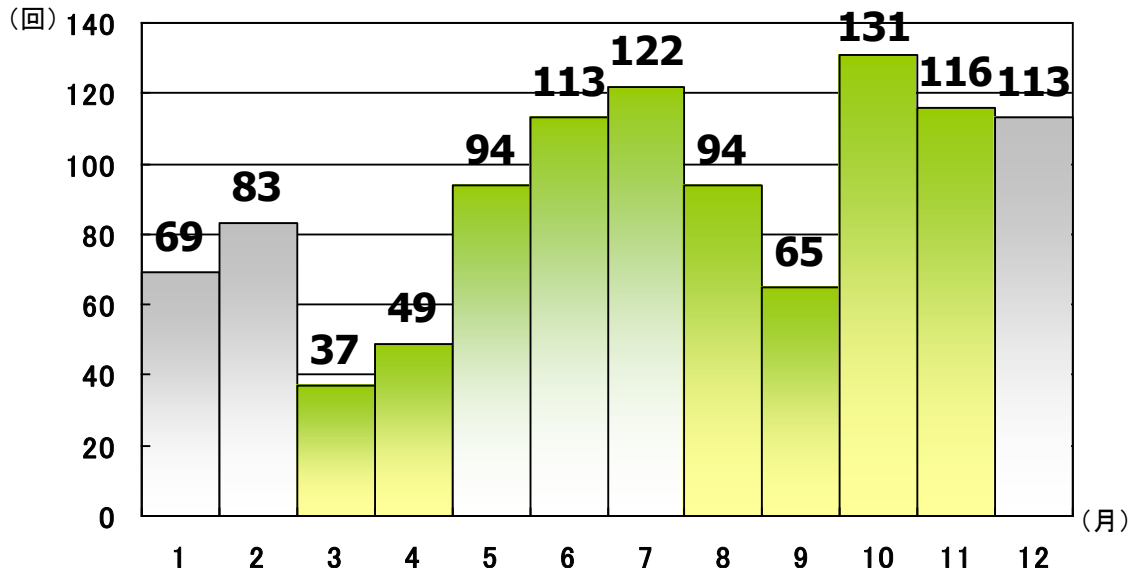
- ・活動は、6月～7月(J1中断期)、10月～12月(シーズン終盤)をピークに分布
- ・最も活動が少ないのは、3月～4月の開幕期。また、9月のシーズン中盤も少ない傾向

・活動は新規の活動が1/3強を占める。

◆開催月(活動数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
J1			3/4(土)～		(中 断)						12/2(土)	●
J2			3/4(土)～								12/2(土)	●
ナビスコカップ			【予選リーグ】		【準々決勝】				【準決勝】		【決勝】	
その他		●										
		2/25	3/29～	5/21	6/3～8		7/15		9/2～20		11/3	

◆新規/継続(活動数)



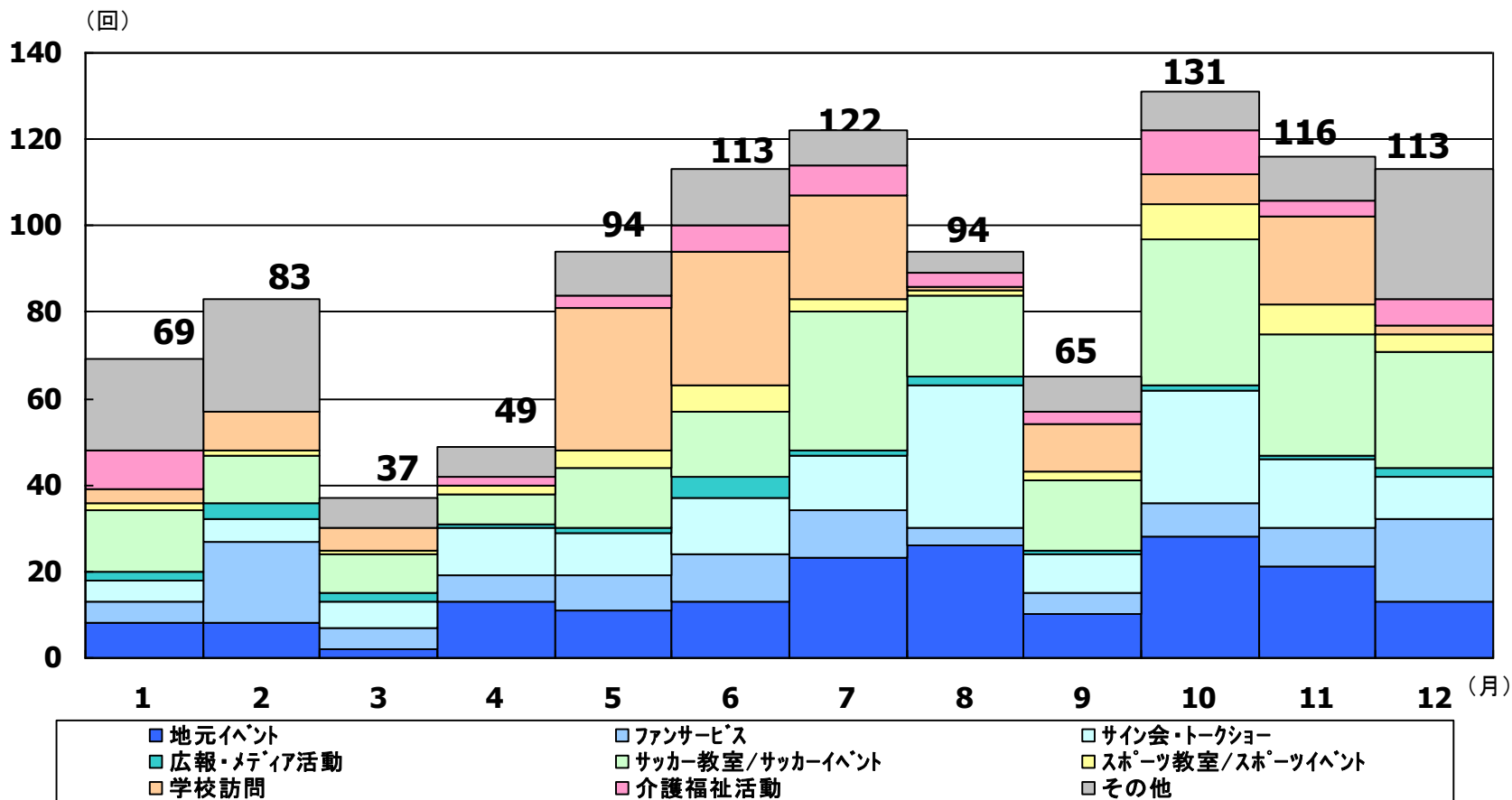
※通年活動が、254回。活動数が多いものは、ふれあいスクール(横浜FC)が50回、ラジオ出演(柏)が50回、ホーム試合イベント(磐田)が20回、オフィシャルショップサイン会(磐田)が20回、試合前サイン会(湘南)が24回、清掃活動(東京V)が20回、施設訪問サッカー教室(札幌)が14回。

活動ジャンル別傾向(開催月)

活動の開催月ごとの活動数(大小)を把握

⇒活動しやすい時期と活動しにくい時期を検証(今後の活動スケジュール検討に活用)

- ・サッカー教室/サッカーイベントは、7月および、10～12月に実施されることが多い。
- ・学校訪問は、5～7月を中心に行っている。
- ・活動数が少ない3～4月は、どの活動ジャンルも、実施されていない。



選手活動傾向分析

選手活動分布(活動数・活動時間)

選手活動数・活動時間にどの程度差があるのかを把握

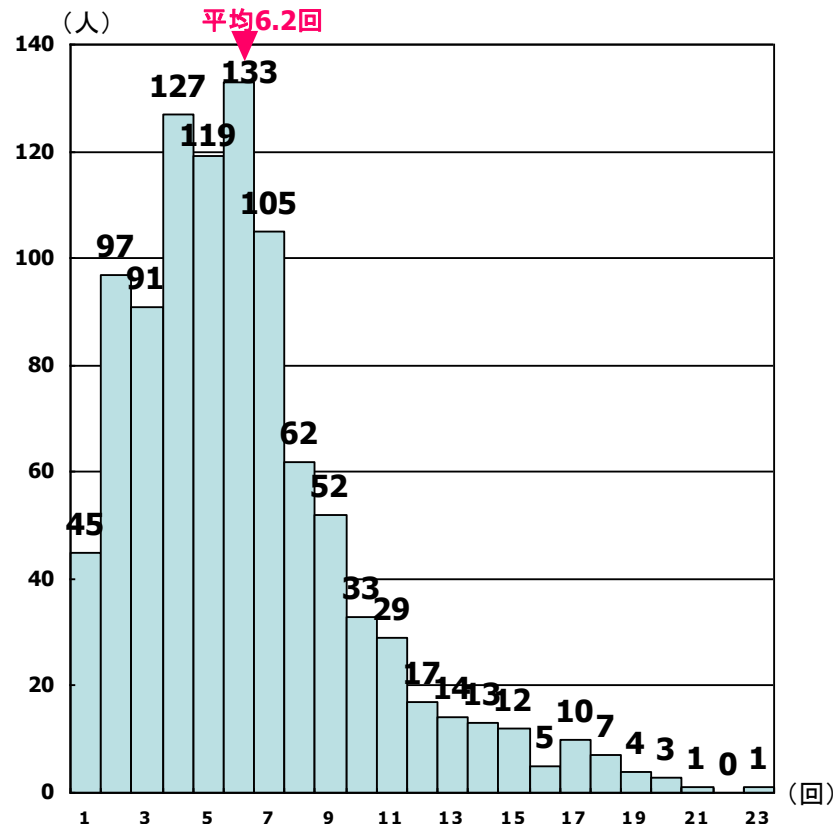
⇒活動数の多い選手の特徴を検証(クラブが出しやすい選手、出しにくい選手を把握)

⇒クラブごとに、今後の活動選手の選択方法を検討

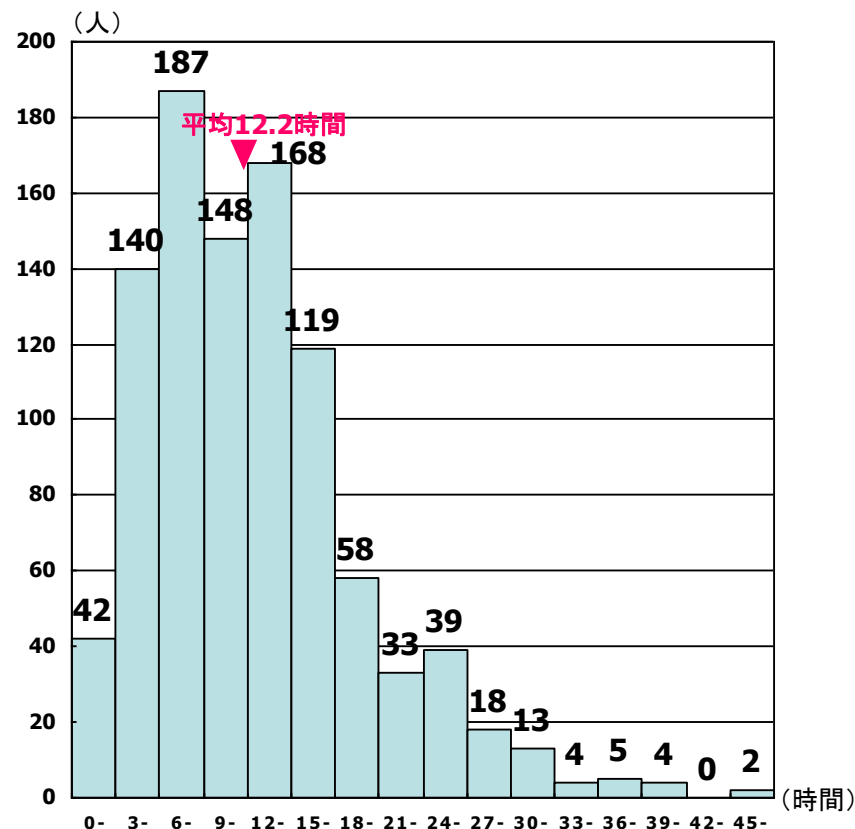
- ・活動数は、4~6回をピークに分布。多い選手は1年で23回活動へ参加している。
- ・活動時間は、6-9時間(=6時間以上9時間未満)が最も多い。18時間以上活動している選手は少ない。最も多い選手は「48時間」参加

◆選手活動数

*参考値



◆選手活動時間



選手活動分布 (総出場時間 × 活動時間)

リーグ戦の出場時間と活動時間の関係性の把握 ⇒活動数の多い選手の特徴を検証(クラブが出しやすい選手、出しにくい選手を把握)
⇒クラブごとに、今後の活動選手の選択方法を検討

- ・試合出場時間が多い人ほど、ホームタウン活動に参加している時間は少ない。
- ・年3,000時間以上の人は、1年で10時間に満たない。
- ・活動が多いのは、出場時間「0～999時間」と「2,500～2,999時間」

◆活動時間

出場時間	ホームタウン活動時間計																総計	平均活動時間計
	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	24-27	27-30	30-33	33-36	36-39	39-42	42-45	45-48		
0-249	16	43	58	46	68	39	16	11	14	6	8	3	3	2		1	334	12.8
250-499		13	13	14	12	8	4	3	4	1	1			2			75	12.9
500-749	2	10	9	7	4	10	4	2	4	2	1	1					56	13.2
750-999		5	9	8	14	5	3	1	2	2						1	50	13.5
1,000-1,249	1	9	9	9	9	5	3	2	4	1	1		1				54	12.9
1,250-1,499	8	4	8	7	7	6	3	1		1	1						46	10.4
1,500-1,749	3	4	10	7	9	8	3	1	1				1				47	11.8
1,750-1,999	1	6	9	6	5	4	3	1									35	10.2
2,000-2,249	2	11	5	11	4	4	4	1	2	1	1						46	11.2
2,250-2,499	3	3	9	8	8	7	5	4		1							48	12.4
2,500-2,749	1	10	12	8	11	8	4	2	4	3							63	12.5
2,750-2,999	1		7	7	8	11	3	3	1								41	13.6
3,000-3,249	2	5	4	3	5		1	1	1								22	9.8
3,250-3,499	1	6	3	2					1								13	7.1
3,500-3,749		3	3	1	1	2											10	8.9
3,750-3,999	1	3	13			1	2		1								21	9.0
4,000-4,249		4	1	3	2												10	8.4
4,250-4,499		1			1												2	8.3
総計	42	140	182	147	168	118	58	33	39	18	13	4	5	4	0	2	973	12.2

...その出場時間のうち、最も多い活動時間帯

*氏名未確認の7選手を除く

...平均活動回数が全体平均の活動時間を上回っている出場時間

選手活動分布(1試合当たりの出場時間×活動時間)

リーグ戦の出場時間と活動時間の関係性の把握

⇒活動数の多い選手の特徴を検証(クラブが出しやすい選手、出しにくい選手を把握)

(リーグ戦の数に合わせて1試合当たりの出場時間を算出(J1:34試合、J2:52試合))


⇒クラブごとに、今後の活動選手の選択方法を検討


- ・活動が多いのは、出場時間「0～20分」と「80～90分」
- ・出場時間「20～80分」の選手が平均活動時間に達しておらず、特に「40～60分」の選手の活動時間が少ない。

◆活動時間

ホームタウン活動時間計 平均出場時間	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	24-27	27-30	30-33	33-36	36-39	39-42	42-45	45-48	総計	平均活動時間計
0-10	15	54	63	52	73	44	20	14	15	6	8	3	3	4		1	375	12.9
10-20	3	14	20	14	13	10	4	3	7	4	2	1					95	12.8
20-30	7	11	12	13	15	7	4	2	2	1	2					1	77	11.8
30-40	5	10	15	17	13	12	5	3	5	1			1				87	12.0
40-50	6	11	14	12	15	6	4	3	1	1			1				74	10.8
50-60	2	7	15	7	10	9	3	1									54	10.3
60-70	2	17	12	10	9	8	9	1	3	1	1						73	11.4
70-80	1	13	23	10	6	11	4	3	3	3							77	11.7
80-90		1	5	11	11	8	4	3	3	1							47	14.5
総計	41	138	179	146	165	115	57	33	39	18	13	4	5	4	0	2	959	12.2

*氏名未確認の7選手+シーズン中にJ1/J2をまたがって移籍した14選手を除く

 ...その出場時間のうち、最も多い活動時間帯

 ...平均活動回数が全体平均の活動時間を上回っている出場時間

選手活動分布(年齢×活動時間)

年齢と活動時間の関係性の把握


⇒活動数の多い選手の特徴を検証(クラブが出しやすい選手、出しにくい選手を把握)


⇒クラブごとに、今後の活動選手の選択方法を検討

・活動時間が多いのは、「19～20歳」(高校卒業新人)、「23～24歳」(大学卒業新人)、「34歳」、「39歳」のベテラン選手

◆活動時間

年齢 \ ホームタウン活動時間	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	24-27	27-30	30-33	33-36	36-39	39-42	42-45	45-48	総計	平均活動時間
16				1													1	9.0
17		2	2				1										5	8.5
18	1	5	3	3	3	3	3	1									22	10.9
19	2	6	12	18	11	14	4	3	4	1	1	1	1	1		1	80	14.1
20	2	4	10	8	24	14	7	4	4	2	2	1	1				83	14.9
21	2	6	13	14	11	10	2	2	2		3		1				64	12.2
22	4	8	12	7	7	7	2	1	3	2	1	1					55	11.8
23	2	16	14	8	15	10	3	3	3	4	2		1	2		1	84	13.8
24	4	11	16	17	15	11	6	7	3	3	2	1	1				97	13.2
25	4	13	17	12	10	12	5		5	1	1			1			81	11.8
26	3	12	12	7	13	6	4	3	3	1							64	11.5
27	3	5	12	9	14	8	4	1	2	2	1						61	12.4
28	3	12	7	10	10	8	2	3	3	1							59	11.4
29	1	11	12	7	10	3	3	3	2								52	10.7
30	2	10	9	11	7		2		1								42	9.0
31	1	7	9	2	9	6	1	2	2								39	11.5
32	4	1	11	6	1	2	5		1								31	10.0
33	3	8	8	2	2	1	1										25	6.9
34		1	1	3	4	3	2	1		1							16	14.9
35	1			2	1												4	8.8
36		1	1				1										3	10.5
37		1			1			1									3	13.0
38																	0	-
39			1						1								2	15.5
総計	42	140	182	147	168	118	58	33	39	18	13	4	5	4	0	2	973	12.2

 ...その年齢のうち最も多い活動時間帯

 ...平均活動時間が全体平均を上回っている年齢

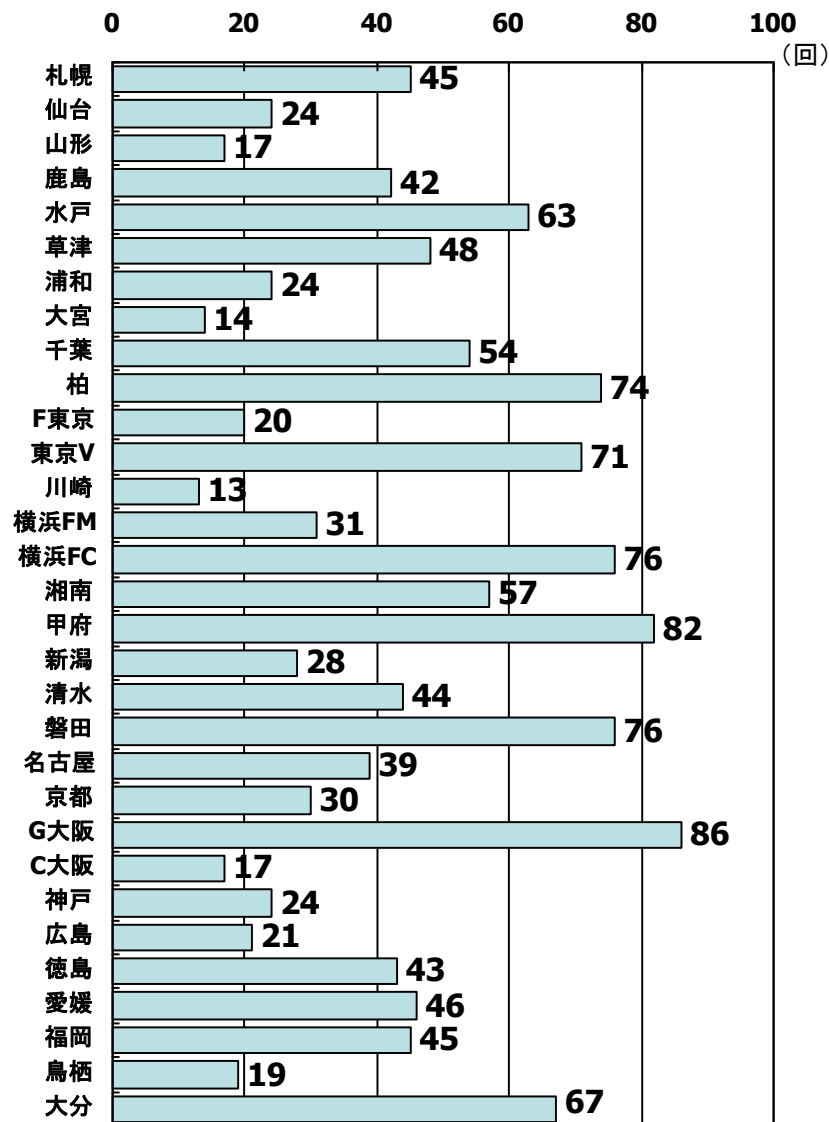
*年齢は2006年12月31日時点

*氏名未確認の7選手を除く

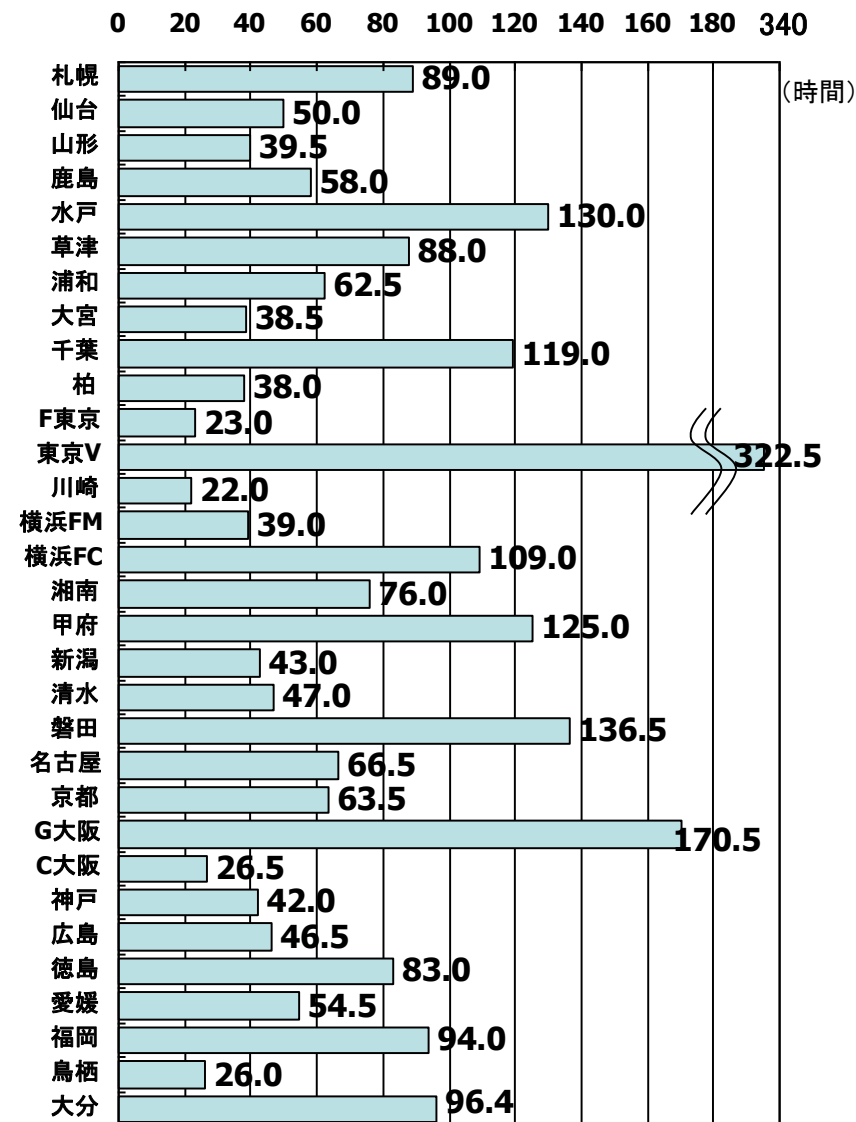
クラブ間比較分析 – 活動全体

活動量

◆活動数

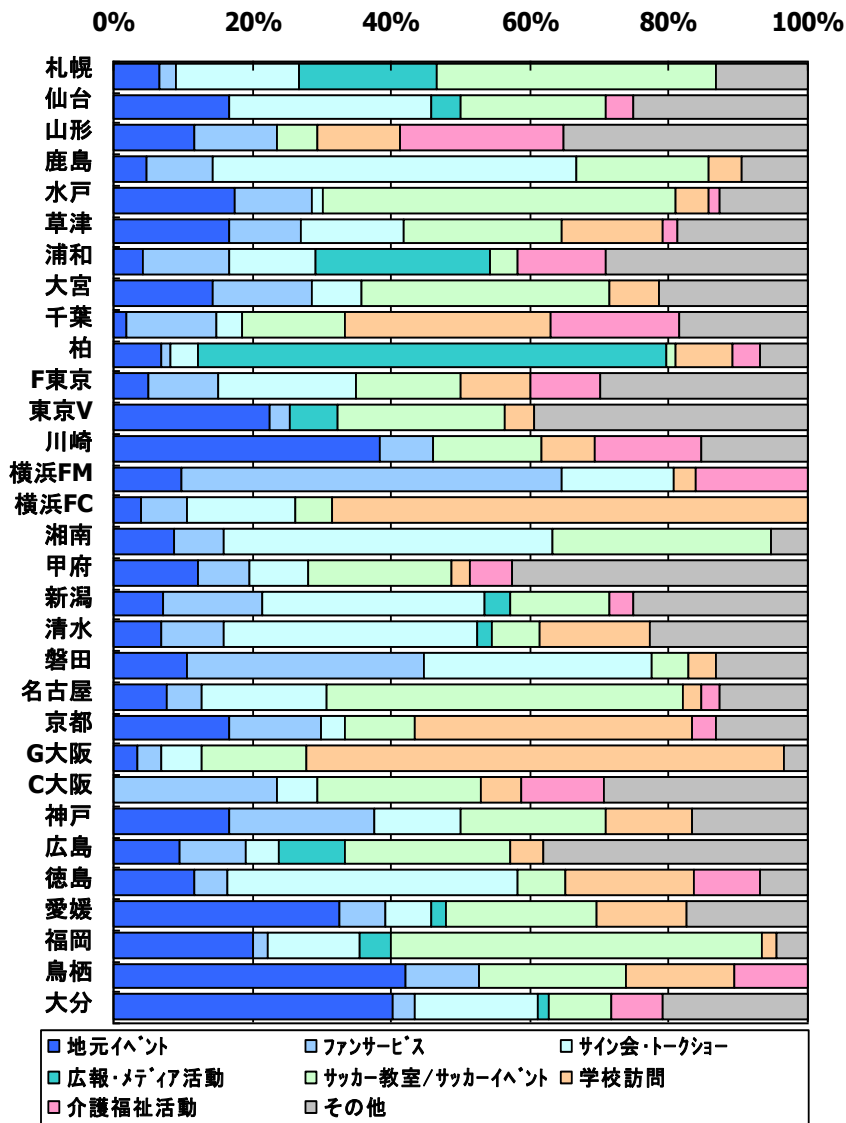


◆活動時間(選手不在の時間を含む)

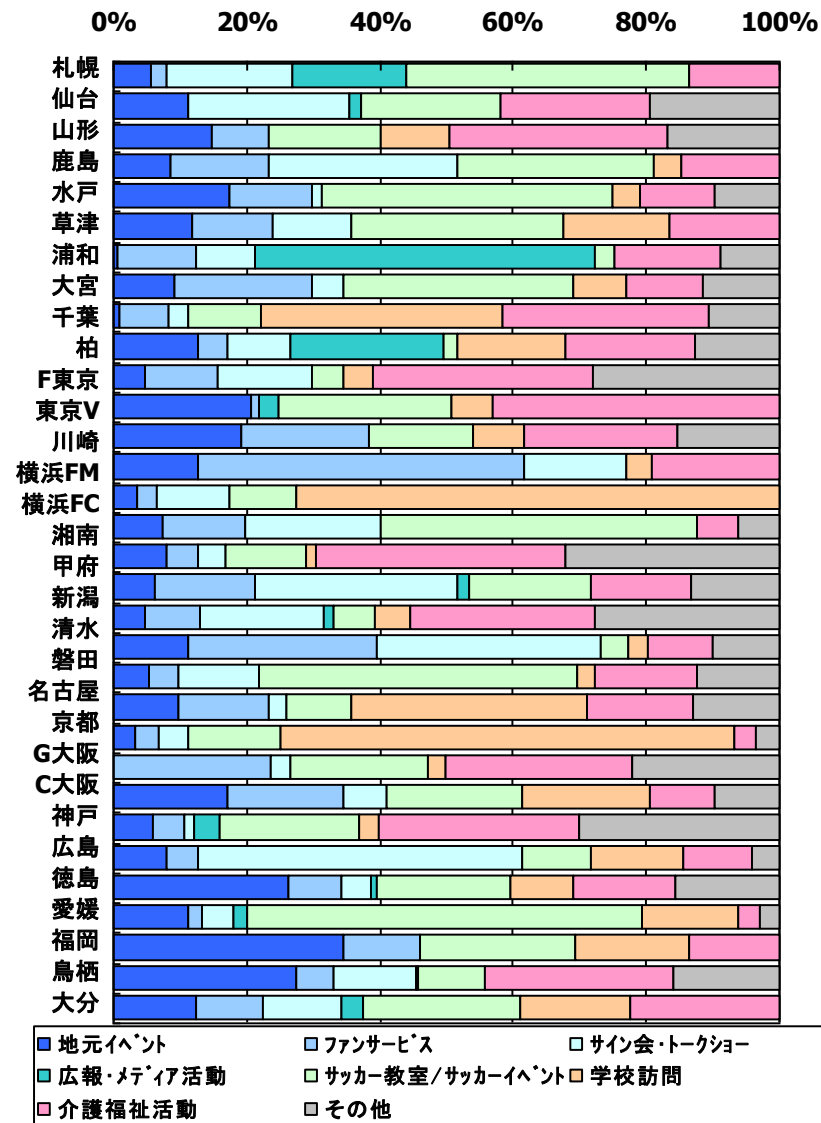


活動ジャンル

◆活動数



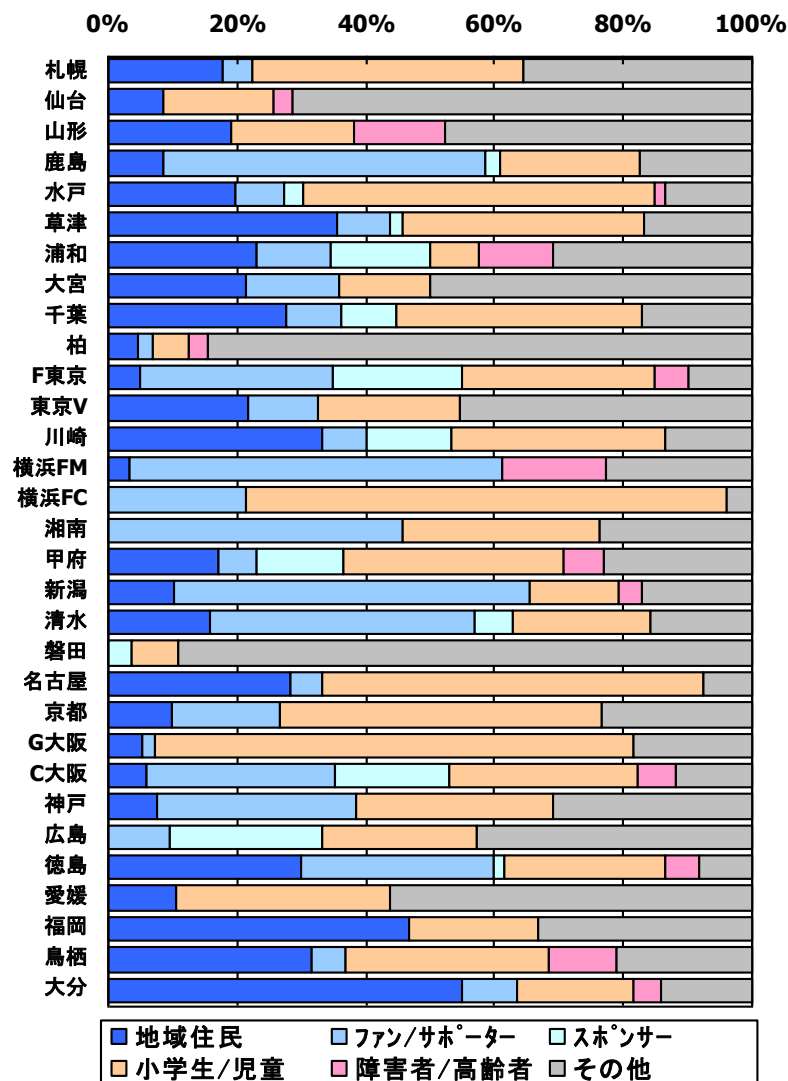
◆活動時間(選手不在の時間を含む)



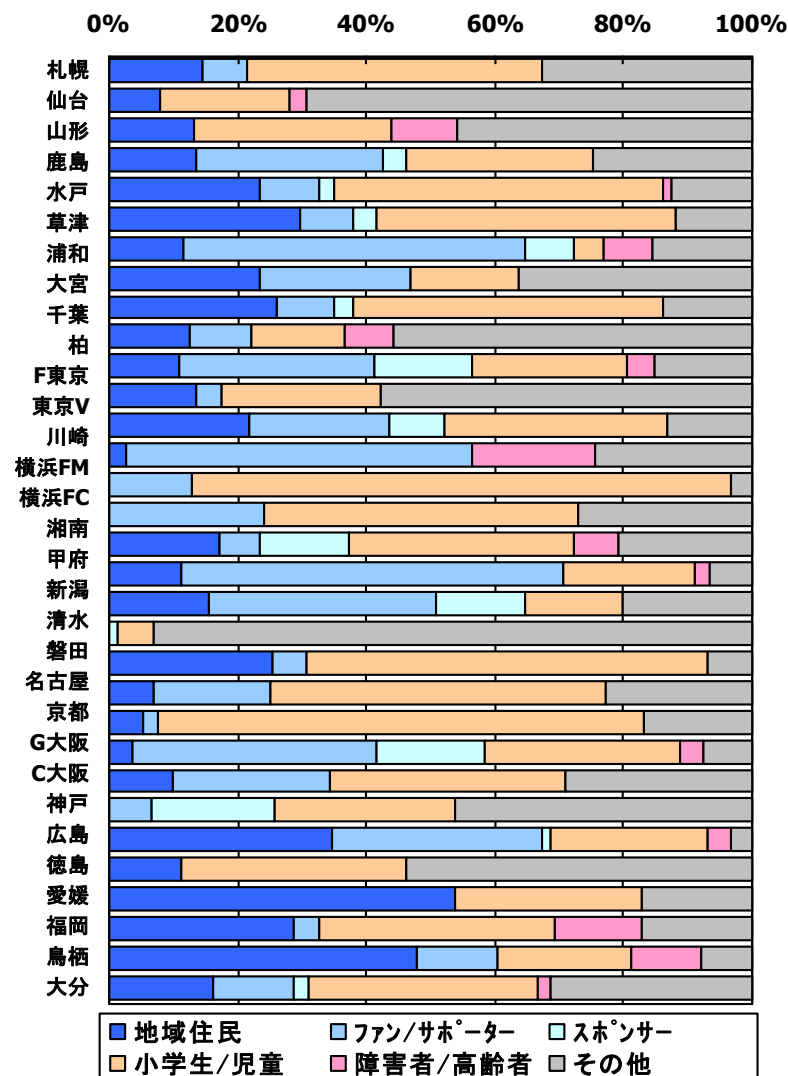
その他: スポーツ教室/スポーツイベント、講演会、チャリティーイベント、スポンサーイベント、表敬訪問など

活動対象者

◆活動数



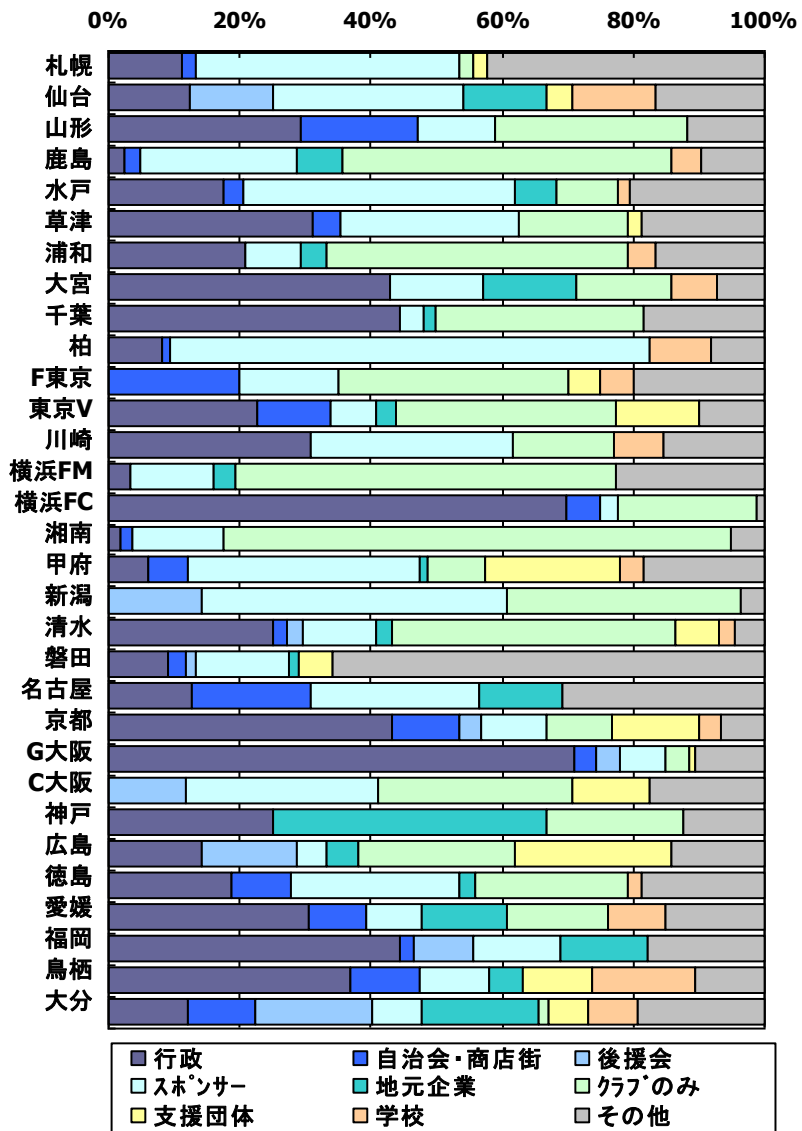
◆活動時間(選手不在の時間を含む)



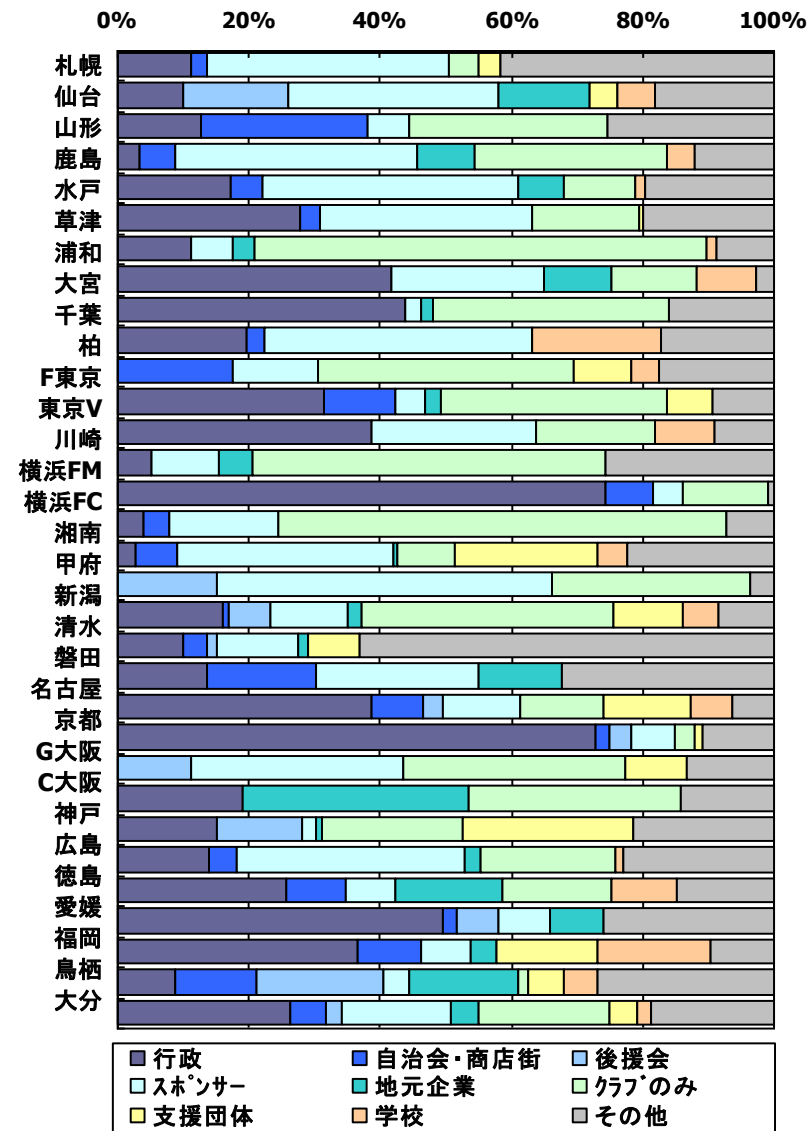
その他: 不特定、行政職員、中学生～大学生、保護者、リスナーなど

協力団体

◆活動数



◆活動時間(選手不在の時間を含む)



その他: リーグ、地元FA、福祉団体、メディア、その他など

開催月

◆活動数

(回)

(回)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	通年	計
札幌	5	1			2	3	3	1	2	5	3	1	19	45
仙台				3	1	1	6	6	1	2	3	1		24
山形	3	3						3	2	2	2	2		17
鹿島		3	4	3	2	1	2	15	3	5	1	3		42
水戸		9	2	6	3	4	11	8	5	1	9	5		63
草津		5	1		3	2	1	5	5	3	8	4	11	48
浦和	4	1	2		1	3		1	1	2	1	7	1	24
大宮		3	1	1		1	1	1	1	3		2		14
千葉	9		2			10	18	2	2	5	1	5		54
柏	1	1		3		3	1	1	5	4	4	1	50	74
F東京	2	1		2	3	1	3		4	1	1	2		20
東京V		6	3	2	3	6	4	5	4	6	3		29	71
川崎				1			3	1	1	1	2	4		13
横浜FM	3		3	2	1	2	2	2	3	10	3			31
横浜FC				2		1	3			3	2		65	76
湘南		4		1		3	4	1	1		2	14	27	57
甲府	4	9	3	4	11	12	13	6	3	8	4	5		82
新潟	3	2		1	4	2	1	1	1	9	2	2		28
清水	3	1		2	2	2	6	8	2	6	7	5		44
磐田	3	2	3	5	2	1	3	1	4	2	5	3	42	76
名古屋	7		3	1	4	4	3	2	2	8	5			39
京都	1	2		2	1	1	2	2	2	2	13	2		30
G大阪	6		1	1	32	29	4	2	2	3	2	1	3	86
C大阪	3	4		1		2	1	2	1	1	1	1		17
神戸		1			2	1	2		1	4	4	9		24
広島	3	3	1		2	1	3	1		2	1	4		21
徳島	1	12	3	2	2	2	2	2	1	8	4	4		43
愛媛	4	2	1	3	3	5	3	5	1	6	8	5		46
福岡	4	3	2		2	6	8	2	2	6	2	1	7	45
鳥栖		3	1	1	1			3	2	1	3	4		19
大分		2	1		7	4	9	5	1	12	10	16		67
計	69	83	37	49	94	113	122	94	65	131	116	113	254	1,340

クラブ間比較分析 – 選手活動

選手活動分布(活動数)

◆活動数

*参考値

(回)	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回	19回	20回	21回	22回	23回	平均	参加選手数
札幌	6	4	3	5	2	1			1	1														3.4	23
仙台	9	9	4	4			1				2													2.9	29
山形			3	9	8	3	5			1														5.1	29
鹿島	1			1	7	8	6	5	1	2	1													6.6	32
水戸									3	6	4	4	5	3			4		1	1				12.7	31
草津		1		1			1	1	2	1	7	2	5	2	2	1	2	1			1			12.1	30
浦和						11	11	8	5		1													7.3	36
大宮	2	2	5	7	12	3																		4.1	31
千葉			3	1	2	12	11	3	1	2		1	1											6.8	37
柏		5	11	7	7	3	4																	4.1	37
F東京		4	3	12	10	4	3																	4.4	36
東京V	14	6	3	1	2	2	1		1															2.6	30
川崎		11	11	10	1																			3.0	33
横浜FM	2	14	6	1	2	3	1	1			1													3.4	31
横浜FC	7	9	8	2																				2.2	26
湘南			2	2			7	10	5	3	1	1												7.8	31
甲府			1		1		1			2	1	1		4	10	3	3	3	3	1			1	14.8	35
新潟		2			14	4	1	5	2	3	2	1												6.7	34
清水		1	1	2	2	7	4	3	6	3	1													7.1	30
磐田		6	1	2	2		8	4	5	2	2		1	1				1	1					7.5	36
名古屋				10	3	5	7	1	1	3	1										1			6.6	32
京都			2	7	10	8	4																	5.2	31
G大阪		4	1	4	8	5	2	5	1			1												5.5	31
C大阪			3	15	11	4	2																	4.6	35
神戸	3	2	7	10	4	9		2																4.3	37
広島		3	1			13	6	3	5	1														6.5	32
徳島				4	8	11	6	1	1	1	1													6.1	33
愛媛	4	6	3	3	3	4	2	2	4	1		1												5.0	33
福岡	1	2		3	3	8	2	1	2	1	2	4	1	3		1		1						8.3	35
鳥栖		17	6	2	2	2	3	2																3.5	34
大分	1	2	4	5	1	1	3	3	4		1	1	1						1					6.5	28
計	50	110	92	130	125	131	102	60	50	33	28	17	14	13	12	5	10	7	4	3	1	0	1	6.1	998

※活動した1回以上した選手を対象。(移籍した選手はそれぞれのクラブでカウントしている)



...該当クラブのうち、最も多い活動回数



...平均活動回数が31クラブ全体の平均を上回っているクラブ

選手活動分布(活動時間)

◆活動時間

(時間)	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	24-27	27-30	30-33	33-36	36-39	39-42	42-45	45-48	平均	参加選手数
札幌	4	6	3	4	4			1	1								8.1	23
仙台	11	10	4	1		1		1	1								5.3	29
山形			16	1	5	3	4										10.9	29
鹿島	1			8	12	7	3	1									13.7	32
水戸				3	6	5	8	2	1	2	2	1	1				19.5	31
草津		1		2	3	2	3	6	7		2		1	3			22.7	30
浦和				1	25	9	1										14.0	36
大宮		2		3	5	15	5	1									14.9	31
千葉			3	4	13	13	3	1									14.1	37
柏	5	19	9	4													5.5	37
F東京	1	7	22	6													7.2	36
東京V	1	14	6		2	4	1		2								8.5	30
川崎			20	12	1												8.3	33
横浜FM	2	20	7	2													4.8	31
横浜FC	12	12	2														3.2	26
湘南		1	3		12	12	2	1									14.2	31
甲府		2		1	1	2	3	7	8	5	5		1				23.5	35
新潟	2		16	9	5	2											9.4	34
清水	1		3	3	13	3	7										14.1	30
磐田		7					3	1	10	8	2	1	2			2	23.2	36
名古屋			10	5	10	2	4					1					13.0	32
京都			2	10	14	4	1										12.2	31
G大阪		3	1	3	1	9	5	6	2		1						17.1	31
C大阪		1	11	18	4	1											9.4	35
神戸		4	22	8	2	1											8.0	37
広島		3	1		14	8	2	2	2								15.1	32
徳島			4	23	5	1											10.6	33
愛媛	8	8	9	4	4												5.9	33
福岡	3	1	7	7	1	5	1	2	3	2	1	1		1			15.1	35
鳥栖		24	4	5	1												5.1	34
大分		2	8	3	4	7	1		2	1							12.8	28
計	51	147	193	150	167	116	57	32	39	18	13	4	5	4		2	12.0	998

※活動した1回以上した選手を対象。(移籍した選手はそれぞれのクラブでカウントしている)



...該当クラブのうち、最も多い活動時間



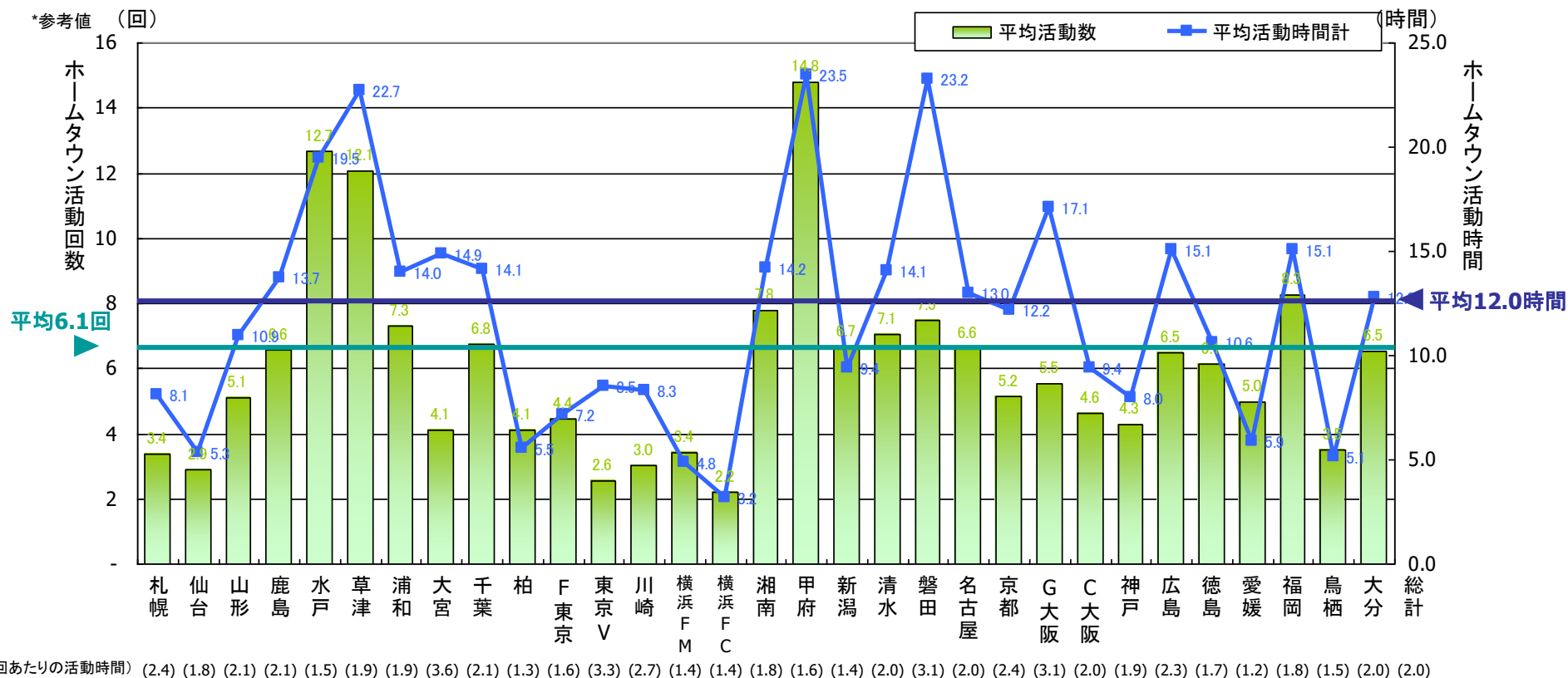
...平均活動時間が31クラブ全体の平均を上回っているクラブ

選手活動分布 (活動数×活動時間)

平均活動時間と活動回数(→1回当たりの活動時間)のクラブ間比較

⇒各クラブが他のクラブと活動量や全体の活動傾向を比較

- ・「甲府」は平均活動数、平均活動時間ともに、31クラブ中トップ。
- ・1回の活動が長時間なのは、「大宮」、「東京V」、「磐田」、「G大阪」。
- ・一方、1回の活動が短時間なのは、「柏」、「横浜FM」、「横浜FC」、「新潟」、「愛媛」、「鳥栖」。



活動の多い選手(上位3位)

◆活動時間

														氏名 (時間)		
札幌		仙台		山形		鹿島		水戸		草津		浦和				
鈴木智樹	24.0	左山晋平	24.0	鈴木雄太	20.5	本田泰人	22.0	木村純哉	36.5	靱谷真弘	39.5	エスクデロ	18.5			
石井謙伍	23.0	金子慎二	23.0	鈴木亮平	20.5	深井正樹	20.0	塩沢勝吾	33.0	里見仁義	39.5	岡野雅行	17.5			
藤田征也	13.0	大橋良隆	17.0	高橋健二	19.5	中後雅喜	19.5	大橋直矢	32.5	大谷圭志	39.0	細貝萌	17.5			
						柳沢敦		19.5								
大宮		千葉		柏		F東京		東京V		川崎		横浜FM				
片岡洋介	21.5	坂本将貴	21.0	桐畑和繁	10.9	浅利悟	11.5	弦巻健人	25.5	鄭大世	12.0	田中裕介	11.5			
西村陽毅	19.5	羽生直剛	20.5	大河原亮	10.9	鈴木規郎	10.0	重光貴葵	24.0	伊藤宏樹	11.0	秋元陽太	9.0			
藤本主税	19.5	立石智紀	18.0	石館靖樹	10.4	伊野波雅彦	9.5	喜山康平	20.0	黒津勝	11.0	田中隼磨	8.0			
		斎藤大輔	18.0			塩田仁史	9.5			佐原秀樹	11.0					
横浜FC		湘南		甲府		新潟		清水		磐田		名古屋				
三浦知良	6.0	坂本紘司	21.0	田森大己	38.6	鈴木慎吾	17.5	岩下敬輔	20.5	犬塚友輔	48.0	平林輝良寛	34.0			
内田智也	6.0	佐藤悠介	19.0	鈴木健太	32.1	三田光	15.5	山西尊裕	20.0	森野徹	46.0	吉村圭司	20.5			
吉野智行	5.5	北島義生	18.5	藤田健	31.8	矢野貴章	14.5	兵働昭弘	19.5	上田康太	38.0	中村直志	20.5			
北村知隆	5.5															
京都		G大阪		C大阪		神戸		広島		徳島		愛媛				
田村仁宗	19.0	木村敦志	32.0	ピンゴ	15.0	増田清一	17.5	駒野友一	26.0	天羽良輔	15.5	友近聡朗	13.0			
松田正俊	16.0	岡本英也	26.0	森島寛晃	14.0	土井良太	13.5	李漢宰	24.0	松浦敦史	14.5	橋垣戸光一	12.0			
大久保裕樹	15.5	寺田紳一	24.0	ジャバ	12.0	大江勇詞	12.0	下田崇	22.0	挽地祐哉	13.5	菅沼実	12.0			
				堂柿龍一	12.0			戸田和幸	22.0			川井光一	12.0			
				有村直紀	12.0											
福岡		鳥栖		大分												
多久島顕吾	39.0	蒲原達也	12.0	河原正治	28.5											
安田忠臣	33.0	日高拓磨	11.5	梶原公	26.0											
六反勇治	30.0	浅井俊光	9.5	西川周作	25.0											
		鐵戸裕史	9.5													

: 1試合当たり平均出場試合時間60分以上
 : 1試合当たり平均出場試合時間10分未満